

小学校 2年

ロボットをしょうかいしよう

松原市立松原北小学校

教科

国語

単元名

ロボット

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。
- ・文章を読んで、感じたことや分かったことを共有する。
- ・文章の中の重要な語や文を考えて選ぶ。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・図書館にあるロボットに関する本を読み、こんなロボットがあつたらいいなと思うものについて考える。
- ・調べたロボットを参考にして、自分で考えたことを筆者の書きぶりを参考に、文章に書き表す。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP 1, C-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全 13 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	・単元のめあてをたしかめ、学習見通しを持つ。初発の感想。(1 時間目) ・教材文を読み、大事な言葉や文を確認する。文章構成を考える。(2 時間目)
第 2 次 (7 時間)	・本文を読み、文章の構成、ロボットの定義と二つの問いの文を確認する。(3 時間目) ・ロボットについて「どのようなロボットがあるのか」「どんなときに助けてくれるのか」を確かめる。(4・5・6 時間目) ・事例の書き方を比べて、分かりやすい説明のしかたやロボットの順番について考え、「このように」が、まとめを表す言葉になっていることを押さえる。(7 時間目) ・「もっと読もう」を読み、どんなロボットがあればよいと思うかを考える。(☆)(8 時間目) ・あつたらいいと思う新しいロボットについて友だちと伝え合う。(☆)(9 時間目)
第 3 次 (4 時間)	・学校図書館を活用し、ロボットに関する本を読む。(☆)(10 時間目) ・あつたら助かりそうなロボットを各自で選び、交流する。(☆)(10 時間目) ・自分が選んだロボットについて書く。(☆)【本時】(11・12 時間目) ・「せつめいのしかた」を使って発表、ふりかえりをする。(13 時間目)

本時のねらい

- ・「あつたらたすかるな。」と思うロボットについて、本の中から大事な言葉を選び出し、ワークシートに書いたり、友だちに説明したりする。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5 分)	1. 本時のめあてを確認する。 ・ロボットに関するクイズを行う めあて：選んだロボットについて、しょうかいしよう。	・ロボットに関する本を用意しておく。 ・事前に選んでおいた資料を配布する。
展開 (35 分)	2. 既習事項を確認し、資料から、大事な言葉を選ぶ。 3. 説明するための文章を【2つの観点】で書く。 ①「どんなロボットか」 ②「ロボットのしょうかい」 ※どんなときにたすけてくれるのか、 何をしてくれるのか など 4. クラスで推敲する。	・2つの観点を意識させながら、図書館資料に線を引かせる。 ・線を引いたところから、筆者の書きぶりを参考に、ワークシートに書かせる。 ・図書館資料の写真を参考にさせる。 ・支援を要する児童に対しては、必要に応じてペアで行わせたり、別のワークシートを準備したりする。 ・推敲する際、児童の文章を取り上げ、【2つの観点】をもとに全体で推敲させる。
まとめ (5 分)	5. 自分の文章を推敲する。 ・全体で確認したポイントをもとに、自分の文章を推敲する	・次時では、引き続き自分の文章を推敲し、交流することを伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「あつたらいいな、こんなロボット」の本文の学習後、実際に様々な場所で活躍しているロボットに関する本を用意したことにより、児童が紹介したいロボットについて、意欲的にワークシートに取り組む姿が多く見られた。本を選択する場面では、味見読書の取組み方法を活用したことで、児童が短時間でたくさんの本にふれることができ、まだまだ、読みたいという興味・関心を高めることができた。

また、ロボットの特徴を知る際には、様々な図書資料に触れることで語彙力を高めることができた。

新しい教材のため、市民図書館を活用し図書資料を揃えた。



ロボットに関する図書資料を読んでいる様子